

平成29年度事業報告

【重点目標の実施状況】

(1) 総合的な防災対策の推進

- ・避難訓練の実施にあたっては、事業計画に基づき、自力での避難が困難な方が増えている状況を踏まえ、全員が避難することを想定したものではなく、避難困難者が存在することを前提とした上で実施し、避難困難者の把握の仕方や対応方法を確認することに力点を置いた。単純に避難するだけでなく、状況に応じた対応が求められる実践的な訓練を通じて、現在の自衛消防組織が抱える課題が浮き彫りになった。避難訓練終了後には職員間で改善点を洗い出し、必要に応じ消防署へ確認するなどして、洗い出された改善点の解決に努めた。また、平成28年に発生した『熊本地震』や本年度7月に発生した『九州北部豪雨災害』を踏まえ、多種多様な災害への対策として、災害復旧期間の長期化に伴う各種ライフラインの寸断を想定し、施設の備蓄状況（水・食料等）の確認や応急対策（簡易トイレ・簡易担架の作成）の講習会を実施。震災や豪雨災害などへの関心を高め、日頃からの災害への備えの必要性かつ重要性について、職員を含めた施設全体の意識向上を図った。

(2) 職員の資質の向上

- ・施設内外における研修を通じて、職員の資質の向上に努めた他、前年度に引き続き、PDCAサイクルの習慣化により、職員の目的意識や各種業務効率の改善向上が図られ、利用者意向を十分に反映できる体制の強化が推進された。

(3) 感染症対策・リスクマネジメント体制の強化

- ・感染症対策委員会を定期的に開催し、研修等を通じて、職員の感染症予防に対する意識の向上に努めた。また、利用者への手洗いうがいの声掛け等をこまめに行い、施設全体の感染症予防対策を行った。
- ・事故防止検討委員会を開催し、事故やヒヤリハット事例検討を通じて、起こりうる事故を未然に防止できるよう、リスクマネジメント体制の強化に努めた。
- ・介護予防に関する取組（スマイル活動他 ※下記に詳細内容記載）を強化し、利用者の心身面の活性化を図ることで、運動機能や認知機能の低下を予防し、転倒や認知症リスクの全体的な軽減を推進した。

(4) 地域における公益的な活動への取組

- ・近隣の介護老人福祉施設「寿生苑」が「地域の方々の社会参加や居場所づくり」を目的に実施している『買物送迎支援事業』（月1回開催）に送迎車や運転手（職員）を提供。
- ・周船寺、元岡、西都校区における「保健・医療・福祉の事業所ネットワーク（『だんらんネットワーク』）」作りに福祉事業所として参画。運営委員として、定期的に開催される全体会の他、地域福祉課題の解決に向けた様々な取組を企画運営。※平成29年度実績は別記。
- ・当施設で実施している介護予防に関する取組「3B体操・ハッピーレク」の他、『安武信吾氏講演会・佐藤弘氏講演会（西日本新聞社）』を地域住民に開放。

【年間行事实績】

月	行事	場所	参加者	行事内容
4月	観桜会 (近隣公園花見)	横浜北公園	公園 55名 食堂 28名	昼食時、徒歩又は送迎車にて近隣の『横浜北公園（玄洋荘から約250mの距離）』まで行き、花見弁当と甘酒を提供（公園に行かない方は食堂にて提供）。桜の開花状況は二分咲きであったが、公園に行かれた方からは、「楽しかった」「お花見をしながらの食事は特別美味しい」など好評の声を頂いた。
	入荘者健康診断	施設内	87名	西福岡病院に委託して実施。（1回目）
	誕生会	食堂	90名	誕生者：6名 誕生花：ガーベラ 平成29年度誕生者祝品は洗剤セット。
5月	バスハイク	大刀洗 平和記念館	43名	「大刀洗平和記念館」で現存する零戦や九七式戦闘機を見学された後、昼食は「ニュー松屋」で御膳を堪能。昼食後、「三連水車の里あさくら」にてショッピングを楽しまれた。
	誕生会	食堂	89名	誕生者：4名 誕生花：ひまわり
6月	喫茶室	スシロー 福岡伊都店	店舗 74名 食堂 13名	荘車でスシローへ行き、各自好きなお寿司を手に取りながら、お友達との会話を楽しまれた。 店舗に行かない方には、持帰り用の「海鮮ちらし」を提供。
	防火協力委員会 防火避難訓練	施設内	74名	委員会にて避難する際の注意事項を説明。 避難訓練にあたっては、夜間の火災を想定、火元をA棟1階共同流し場として実施。
	西ブロック 交歓大会	糸島市健康 福祉センター	11名	出演者：5名 見学者：6名 民舞クラブメンバーが一生懸命練習してきた『きよしのズンドコ節（民舞）』を大舞台上で披露された。
	誕生会	食堂	90名	誕生者：6名 誕生花：アルストロメリア
	懇談会	食堂	54名	各部署からのお知らせや、利用者からの希望や要望の意見交換を行い、相互理解に努めた。
7月	日帰り食事会	初音旅館 志摩イオン	67名	今回は糸島市志摩にある『初音旅館』を利用。参加者も多く、「刺身が美味しい」等皆様に好評であった。帰りに『志摩イオン』に立ち寄り買い物を楽しまれた。
	安武信吾氏講演会 (西日本新聞社)	食堂	利用者 53名 外部 6名	西日本新聞社提案のもと、テレビドラマ化や映画化され話題を呼んだ『はなちゃんのみそ汁』の著者である安武信吾氏による子育て・食育に関する講演会を開催。地域住民にも周知し、地域活動の一環とした。
	誕生会	食堂	88名	誕生者：6名 誕生花：カーネーション
8月	バーベキュー パーティ	中庭	87名	前年度に引き続き中庭を利用してのバーベキューパーティを企画。本年度は焼き肉や焼きそば、炒め野菜、スイカ、おにぎりに加え、職員の手製によるかき氷も準備して開催。開放感あふれる中での食事を楽しんで頂けた。
	盆供養	集会室	46名	常楽寺のご住職をお招きし、盆供養実施。
	誕生会	食堂	90名	誕生者：5名 誕生花：ひまわり
9月	入荘者健康診断	施設内	83名	西福岡病院に委託して実施。（2回目）
	防火協力委員会 防火避難訓練	施設内	76名	委員会にて避難する際の注意事項を説明。 避難訓練にあたっては、昼間の火災を想定、火元をA棟3階共同流し場として実施。
	敬老祝賀会	食堂	89名	敬老祝賀会の式典を開催。ご長寿のお祝いをはじめ祝品の贈呈、祝電披露などを終え、豪華な食事を堪能されていた。また、祝賀会終了後の『華の会』様、『スウィングハーブ』様による各種演芸にも多くの方が来られ楽しまれた。
	誕生会	食堂	88名	誕生者：8名 誕生花：デンファレ

10月	秋祭り	エントランス	多数	入荘者ご家族、周辺施設、地域住民の方々に多数お越し頂き、地域と入荘者の交流の場とすることができた。 出演団体：『華の会（踊り）』、『青龍太鼓（太鼓）』、『スウィングハーブ（大正琴）』、『ラ・マヒナ・ジュン元岡教室（フラダンス）』
	西ブロック運動会	さいとぴあ	8名	西ブロック主催の運動会に参加し、玉入れや綱引きなど様々な種目で汗を流された。
	誕生会	食堂	88名	誕生者：3名 誕生花：バラ
11月	秋のイベント 『福岡タワー』	福岡タワー	22名	施設車輛を利用して『福岡タワー』へ行き、地上123mにある最上階の展望室から、福岡の街並みや博多湾などの景色をパノラマで展望された。景観観賞後は、タワー内にあるスカイラウンジ『ルフージュ』でケーキセットを提供。※今回は11月度スマイル活動（芋掘り体験）との合同企画とし、いずれか一方を選択して参加して頂いた。
	講話	集会室	31名	山下正三様にお越し頂き、ご高話を頂いた。
	誕生会	食堂	89名	誕生者：6名 誕生花：ガーベラ
	懇談会	食堂	66名	各部署からのお知らせや、利用者からの希望や要望の意見交換を行い、相互理解に努めた。
12月	慰問（讚美歌等）	集会室	39名	伊都キリスト教会の皆様による讚美歌や講話を楽しまれた。
	総合防災訓練 （施設備蓄確認他）	食堂	64名	多種多様な災害への対策として、施設備蓄状況の確認や応急対策（簡易トイレ・簡易担架の作成）の講習会を実施。
	慰問（プロレス）	集会室	27名	『九州プロレス』所属の「野崎広大」選手にお越し頂き、プロレスのデモンストレーションやプロレスラーにお姫様抱っこしてもらおうといった楽しい催しで盛り上がっていた。
	誕生会	食堂	89名	誕生者：8名 誕生花：カーネーション
	慰問（ハンドベル）	集会室	39名	雙葉小学校の生徒によるハンドベル演奏や、交流を楽しまれた。本年度は12月度のスマイル活動で制作したクリスマスカードを生徒達にプレゼントしたところ、喜ばれた。
	クリスマス会	食堂	87名	大正琴クラブの中村先生をお招きし、お食事や演芸など楽しい時間を満喫して頂いた。毎年恒例の職員による出し物もあり、年末を締めくくる行事として大いに盛り上がっていた。
1月	青木獅子舞	1階ロビー	多数	『今宿青木獅子舞保存会』様による獅子舞演芸。例年正月の風物詩として皆様が楽しみにしており、多くの方が見に来られていた。
	誕生会	食堂	91名	誕生者：12名 誕生花：チューリップ
	慰問（歌・踊り）	集会室	38名	歌優会の皆様にお越し頂き、歌や踊りなどの演芸に皆様楽しまれた様子でした。
2月	喫茶室	食堂	87名	バイキング形式での喫茶室を開催。メニューは刺身、寿司、デザート他多種多様に取り揃えて実施。
	誕生会	食堂	91名	誕生者：16名 誕生花：カーネーション
3月	日帰り食事会	喜水	66名	今回は小田部にある『喜水』を利用。送迎バスの利用ができない為、施設車輛を使用して5便（5日）に分けて催行。参加者数も多く、老舗料亭の雰囲気の中で美味しいお食事を堪能された。「また行きたい」との声も多く、好評であった。
	防火協力委員会 防火避難訓練	施設内	71名	委員会にて避難する際の注意事項を説明。避難訓練にあたっては、夜間の火災を想定、火元をA棟2階共同流し場として実施。
	誕生会	食堂	92名	誕生者：15名 誕生花：ストック
	佐藤弘氏講演会 （西日本新聞社）	食堂	利用者 60名 外部 4名	西日本新聞社提案のもと、佐藤弘氏（西日本新聞社編集委員）を招致し、『囁むことは、生きること』と題して、食育・介護予防に関する講演会を開催。安武信吾氏による講演会に引き続き地域住民にも周知し、地域活動の一環とした。
	懇談会	食堂	60名	各部署からのお知らせや、入荘者からの希望や要望の意見交換を行い、相互理解に努めた。

【介護予防に関する取組実績①（スマイル活動）】

月	行事	場所	参加者	行事内容
4月	第29回 スマイル活動 『いちご狩り』	今津リフレッシュ農園	男性 4名 女性 20名	<p>【概要】施設車輛を使用して『今津リフレッシュ農園』に行き、参加者自身で苺を採取して頂く。</p> <p>【目的】外出レクに参加することで、日常生活に新しい楽しみや生きがいを見つけて頂く。運動不足解消。</p> <p>【評価】いちご狩りが初めての方もおられ、「楽しかった」との声が多かった。苺を採取する際にハウス内を周遊されるため、運動不足の解消につながった。</p>
5月	第30回 スマイル活動 『藍染め』	食堂	男性 2名 女性 13名	<p>【概要】藍染めの伝統的な技法で自分好みの柄を選んでオリジナル手提げを作成して頂く。</p> <p>【目的】物作りの楽しさを体験し、生活意欲を高める。創作活動を通じて、脳の活性化を図り、集中力、創造力を磨く。</p> <p>【評価】創作活動中は他者との交流も多く、楽しい雰囲気の中で創作活動に励まれていた。活動後、作成した手提げを使用されている方も多く、達成感を感じて頂ける取組となった。</p>
6月	第31回 スマイル活動 『紫陽花観賞』	白糸の滝	男性 6名 女性 16名	<p>【概要】送迎車を利用し、6/28・6/29に渡り、『白糸の滝』に出かけ、紫陽花観賞。</p> <p>【目的】季節感を感じて頂き、閉じこもりを予防。</p> <p>【評価】白糸の滝と約10万本ともいわれる紫陽花を観賞しながらの季節散策を満喫して頂いた。</p>
7月	第32回 スマイル活動 『風鈴作り』	食堂	男性 1名 女性 14名	<p>【概要】自分だけのオリジナル「風鈴」を製作し、出来上がった作品を食堂に展示する（展示後本人へ渡す）。</p> <p>【目的】手先を使った風物詩作りを通じて、季節感を感じて頂きながら脳の活性化を図る。</p> <p>【評価】小さな絵を貼る繊細な作業であったが、集中して取り組まれ、参加者それぞれの風鈴を製作することができた。</p>
8月	第 - 回（中止） スマイル活動 『餃子作り』	食堂	男性 - 名 女性 - 名	<p>【概要】材料を切る・混ぜる・焼く等、一連の作業を行う。</p> <p>【目的】作業工程を考えながら料理することで、脳の活性化を促す。グループ活動による他参加者との交流の促進。</p> <p>【評価】本活動で作った餃子をBBQパーティで提供する旨の案内を掲示していたところ、衛生上の問題を指摘する声があったため、催行中止（提供用の餃子は急遽職員にて製作）。</p>
9月	第33回 スマイル活動 『駄菓子屋さん』	食堂・集会室	男性 9名 女性 31名	<p>【概要】昔懐かしい駄菓子屋を再現。縁日風の各種催し（輪投げ、綿菓子他5種）も企画。縁日利用券、駄菓子屋金券を配布し、自由に利用してもらう。</p> <p>【目的】昔懐かしい雰囲気を味わって頂く回想法により、情緒を安定させ、認知症の進行予防を図る。</p> <p>【評価】参加者は昔懐かしい駄菓子屋や縁日の雰囲気に触れ、童心に返って楽しまれていた。思い出話にも花が咲き、他者交流も促進された。</p>
10月	第34回 スマイル活動 『チューリップ球根植え』	玄関前花壇・中庭	男性 1名 女性 9名	<p>【概要】玄関前の花壇及び中庭にチューリップの球根を植栽。</p> <p>【目的】「園芸療法」の実践。他者交流促進。</p> <p>【評価】施肥、苗の準備、植え付け等園芸の一連の作業を役割分担の上、利用者同士協力しながら楽しく実施できた。植栽後は、自分の植えた花が育つのを楽しみにされていた。</p>
11月	第35回 スマイル活動 『芋掘り体験』	ファームハウス 田園茶屋 いとわ	男性 5名 女性 15名	<p>【概要】施設車輛を使用して糸島市志摩桜井にある『ファームハウス』に行き、芋掘りを体験して頂く。帰りに『田園茶屋いとわ』に立ち寄り「ケーキセット」を提供。</p> <p>【目的】外出レクに参加し、普段できない体験をすることで、日常生活に新しい楽しみや生きがいを見つけて頂く。</p> <p>【評価】芋掘りが初体験の方も多く、慣れない作業に一生懸命。苺を採取する際にハウス内を周遊されるため、運動不足の解消につながった。</p>

12月	第36回 スマイル活動 『クリスマス カード作り』	食堂	男性 1名 女性 19名	【概要】事前準備した下絵材料を自由に切り貼りして「クリスマスカード」を製作する。製作したクリスマスカードは雙葉小学校の生徒が慰問に来られた際にプレゼントする。 【目的】細かな作業を通じ、手指機能の維持向上を図る。 【評価】製作したクリスマスカードをプレゼントすることで、生徒達の喜んだ表情をみることができ、充実感や達成感を感じて頂ける有意義な取組となった。
1月	第37回 スマイル活動 『初詣』	桜井神社	男性 4名 女性 16名	【概要】施設車輛を利用し、1/10、1/11の二日間で『飯盛神社』へ赴き、初詣実施。帰りは『資さんうどん』に立ち寄り、名物の「おでん」と「ぼた餅」を提供。 【目的】閉じこもり予防。運動不足解消。 【評価】昨年度の反省を活かし、本年度は場所を『飯盛神社』に変えて実施。厳寒の中での開催となったが、多くの方に参加頂き、外出の機会を作ることができた。
	第38回 スマイル活動 『博多かるた』	食堂	男性 1名 女性 13名	【概要】「博多かるた」を使ったかるた取り大会。参加賞として認知症予防のトイレットペーパーを準備し、進呈。 【目的】他者交流促進。閉じこもり予防。認知症予防。 【評価】前年度実施し好評であったため、再度実施。昔ながらの博多ことばや博多の名所などが盛り込まれた「博多かるた」を使用したことで、エピソード記憶の向上につながった。終始楽し気な雰囲気で行えた。
2月	第39回 スマイル活動 『梅が枝餅作り』	食堂	男性 1名 女性 11名	【概要】材料を混ぜる・焼く等、一連の作業を行う。 【目的】作業工程を考えながら料理することで、脳の活性化を促す。グループ活動による他参加者との交流の促進。 【評価】それぞれのグループ内でコミュニケーションが図られ、和やかな雰囲気の中で役割分担もできていた。想像していたよりも出来が良く美味しいと好評であった。
	第40回 スマイル活動 『ミニゲーム 大会』	集会室	男性 2名 女性 11名	【概要】3種のミニゲーム『スリッパ飛ばしゲーム』『物当て(記憶力)ゲーム』『魚釣りゲーム』を用意し、それぞれ賞品も準備した上で実施。 【目的】冬場でなまった体を動かして、運動不足解消。 【評価】負担の少ない簡単なゲームに参加して頂くことで、冬場の運動不足解消につながった。また、それぞれのゲームに参加される中で笑い声もあり楽しい時間を過ごして頂くことができた。

【介護予防に関する取組実績②（クラブ活動）】

クラブ活動名	先生	クラブ員数	実施頻度	クラブ活動状況
大正琴クラブ	中村先生	男性0名 女性5名	月2回 (年24回)	本年度クラブ員増員(2名)。例年「クリスマス会」に向け課題曲を練習。指先を使って音楽を演奏することで、脳の活性化など優れた介護予防効果を期待。
書道クラブ	中上先生	男性0名 女性10名	月2回 (年24回)	クラブ員数に大きな変化はなし。クラブ員からの要望もあり、本年度より硬筆の練習も開始。「書く」という作業を通じ、集中力や注意力を高める効果を期待。
民舞クラブ (本年度廃止)	井上先生	-	-	クラブ員の高齢化に伴い、「民舞」に対する心身両面の負担が大きくなりクラブ員が減少。残ったクラブ員(廃止時5名)も上記同様に負担を感じられている状況を受け、本年度中に廃止。
カラオケクラブ (本年度廃止)	田中先生	-	-	「毎回好きな曲をリクエストして歌いたい」など、カラオケニーズは多様化しており、クラブ員意向を確認した上でクラブ活動を廃止(廃止時8名)。 ※今後は新規取組である「ハッピーレク」にて、現状のカラオケニーズに沿ってカラオケレクを実施。

【介護予防に関する取組実績③（3B体操）】 ※参加者推移

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
8名 (2名)	14名 (0名)	12名 (0名)	11名 (0名)	15名 (0名)	13名 (0名)	15名 (0名)	13名 (0名)	12名 (0名)	16名 (0名)	15名 (0名)	16名 (0名)

※括弧内は外部からの参加者を再掲載。

【介護予防に関する取組実績④（ハッピーレク※新規取組）】

本年度、介護予防プログラムを搭載した多機能通信カラオケ機器『生活総合機能改善機器 DK エルダーシステム（第一興商）』の新規導入に合わせ、これまで「カラオケ会」「カラオケクラブ」として実施してきたカラオケレクリエーションを大幅に見直し、介護予防の推進などを目的とした新たな取組として「ハッピーレク」を立ち上げた。現状のカラオケニーズに沿って、参加者からのリクエストによるカラオケを実施するなどして参加人数の増加を目指すとともに、カラオケ機器に搭載された「音楽」「体操」「映像」など様々なプログラムを活用し、厚生労働省が介護予防の柱とする「運動」「口腔」「認知」機能の向上・改善を支援し、介護予防を推進。

取組内容 (実施例)	平成30年3月2日実施分 「ハッピーレク」プログラム一覧 参加者21名(外部1名)					
	①下肢のウォーミングアップ(体操)			⑧「旅姿三人男」(歌)		
	②「赤いハンカチ」(歌)			⑨花の名前を言ってみよう(脳トレ)		
	③心と体のコロコロ体操(体操)			⑩「月の砂漠」(歌)		
	④「先生」(歌)			⑪「北の漁場」(歌)		
	⑤「東京キッド」(歌)			⑫「とまり木」(歌)		
	⑥「東京音頭」(歌)			⑬「つぐない」(歌)		
	⑦背筋ゆるのび体操(体操)			実施時間：午後1時30分～午後2時30分 1時間		
5月	5/26 ※初回	-	-	-	-	-
	25名(0名)	-	-	-	-	-
6月	6/1	6/7	6/24	-	-	-
	16名(0名)	22名(0名)	22名(0名)	-	-	-
7月	7/1	7/6	7/12	7/19	7/24	7/28
	29名(0名)	25名(0名)	20名(0名)	22名(0名)	22名(0名)	16名(0名)
8月	8/2	8/10	8/19	8/23	8/28	8/31
	19名(0名)	14名(0名)	14名(0名)	13名(0名)	12名(0名)	24名(0名)
9月	9/4	9/11	9/15	9/26	9/30	-
	17名(0名)	27名(0名)	23名(0名)	17名(0名)	24名(0名)	-
10月	10/4	10/10	10/14	10/19	10/24	10/30
	19名(0名)	23名(0名)	20名(0名)	29名(0名)	16名(0名)	20名(0名)
11月	11/2	11/9	11/18	11/22	11/29	-
	19名(0名)	17名(0名)	31名(0名)	28名(0名)	25名(0名)	-
12月	12/6	12/12	12/15	12/22	12/26	-
	21名(0名)	23名(0名)	23名(3名)	21名(0名)	21名(0名)	-
1月	1/5	1/13	1/17	1/23	1/30	-
	25名(0名)	30名(0名)	22名(0名)	30名(0名)	27名(0名)	-
2月	2/2	2/10	2/13	2/16	2/26	-
	26名(0名)	31名(0名)	22名(0名)	19名(0名)	24名(1名)	-
3月	3/2	3/15	3/24	3/27	-	-
	21名(1名)	23名(0名)	23名(0名)	25名(0名)	-	-

※括弧内は外部からの参加者を再掲載。

【介護予防に関する取組実績⑤（グラウンドゴルフ※新規取組）】

本年度、校区民生委員のご協力もあり、慢性的な運動不足解消に向け、近隣の『新西部水処理センター』のグラウンドを使用して「グラウンドゴルフ」を実施。普段あまり行事に参加されない男性利用者を中心にお声掛けし、運動の機会を創出。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
-	-	-	7名 (2名)	-	-	6名 (2名)	-	6名 (2名)	-	-	-

※括弧内は外部からの支援者（民生委員等）を再掲載。

平成29年度の介護予防に関する取組を通じて

「スマイル活動」は平成26年度にスタートして4年目となり、施設の取組として定着。本年度はマンネリ化を防ぐため、「いちご狩り」や「芋掘り体験」など利用者の興味を引く体験型の企画も新たに組み込み、参加人数の維持、増加を図ったところ、本年度は全12回の活動を実施し、1回あたり平均19名弱の参加者となった（前年度平均17名強）。

また、「クラブ活動」では、長らく活動してきた「民舞クラブ」「カラオケクラブ」を相次いで廃止する形となった。クラブ活動は講師の先生を招致し、専門性の高い趣味活動を通じて高い介護予防効果を期待するものであるが、虚弱高齢化が進む中で、高い専門性のために参加者が増えないというジレンマを抱えているものと推察される。今後も利用者全体の状態やニーズの変化を見極めながら、クラブ活動の動向を見守っていく必要がある。

一方、新たな取り組みとして本年度より「ハッピーレク」「グラウンドゴルフ」を実施。「ハッピーレク」ではカラオケや体操、脳トレなど趣向の違う様々な介護予防プログラムを職員が組み合わせて実施。スマイル活動同様、参加の有無をその都度自分で決めることができる点で、利用者が参加しやすいものとなっており、前身となる「カラオケクラブ」「カラオケ会」といったカラオケレクリエーションに比べ、参加者が大幅に増加した（参加者数平均23名弱）。「グラウンドゴルフ」は天候や気候に左右されることが多く、実施回数は年間を通して3回にとどまった。

その他、職員の資質の向上の観点からも、各種介護予防に関する取組の企画・実施を通じた職員全体のスキルアップが図られており、他行事や日々の業務における目的意識の高まりが感じられる。

【地域における公益的な活動への取組実績】

・『地域買物送迎支援事業』

《実績》

ほぼ毎月1回実施し、本年度は11回に渡り、送迎車（運転手含む）を提供。買物をきっかけとした他者交流の場としても機能しており、地域にある潜在的な福祉ニーズの把握にもつながっている。

※3ヶ月毎に実施される、事業の実効評価の会議にも参加。

・『だんらんネットワークに関する取組』

（周船寺、元岡校区における「保健・医療・福祉の事業所ネットワーク」）

《実績》

①本年度は全8回に渡り、事務局運営委員として委員会に参加。

②全体会を全3回に渡り実施。※各回30を超える事業所が参加。

◆第4回全体会（平成29年6月9日開催）

事前に「周船寺・元岡・西都校区での認知症等支援に関するアンケート」を実施したところ、パンフレット作成・連絡網作成に関して全事業所が「はい」の回答であったため、だんらんネットワークを地域に知って頂くためのパンフレット作成を提案。

→パンフレット作成に向けたグループワークを実施

◆第5回全体会（平成29年10月25日開催）

前回全体会にて提案したパンフレット作成に関して、予め事業所毎に作成して頂いた事業所紹介内容をもとに事務局にて「事業所マップ（仮）」を作成。「事業所マップ（仮）」内容について検討。

→「事業所マップ（仮）」内容についてグループワークを実施

◆第6回全体会（平成30年1月25日開催）

前回に引き続き「事業所マップ（仮）」内容について検討（最終）。

→「事業所マップ（仮）」内容についてグループワークを実施

③「周船寺・西都校区認知症行方不明者捜索訓練」への支援協力。

④「周船寺校区お一人暮らし高齢者会食会」における送迎支援。

事業所単体では対応が難しい地域福祉ニーズへの対応を「保健・医療・福祉」の連携を主軸に、校区社協、包括支援センターとも協働しながら展開。

・『施設行事「3B体操」「ハッピーレク」「講演会」の地域開放』

《実績》

施設で開催中の「3B体操」「ハッピーレク」を地域住民にも開放。

本年度実施した「安武信吾氏講演会」「佐藤弘氏講演会」を地域に向け案内。

※実績は別記実績参照。